

第
4633
号

(2-2)



1994年1月6日創刊・毎日発行

リーダスクラブFAXニュース

(2012年)平成24年 12月 17日 月曜日

発行所

三輪厚二税理士事務所／顧問料不要の三輪会計事務所（編集・発行：税理士 三輪厚二）
大阪市中央区備後町 2-4-6 TEL：06-6209-7191 WEB：<http://www.zeirishi-miwa.co.jp>

⇩ 平成 23 年相続税の調査状況

Q：平成23年の相続税の調査状況が公表されたようですが、どのような内容だったのですか？

A：次のような内容でした。

【解説】

さきごろ、国税庁から平成23事務年度の相続税の実地調査の状況が公表されました。

概要は次のとおりです。

- ①実地調査件数及び申告漏れ等の非違件数
相続税の実地調査の件数は13,787件(前事務年度13,668件)で、このうち申告漏れ等の非違があった件数は11,159件(前事務年度11,276件)で、非違割合は80.9%(前事務年度82.5%)でした。
- ②申告漏れ相続財産の内訳
申告漏れ相続財産の金額の内訳は、現金・預貯金等1,426億円(前事務年度1,332億円)が最も多く、続いて有価証券631億円(前事務年度631億円)、土地630億円(前事務年度719億円)の順となっています。
- ③追徴税額
追徴税額(加算税を含む)は757億円(前事務年度797億円)で、実地調査1件当たりでは549万円(前事務年度583万円)でした。
- ④重加算税の賦課件数
重加算税の賦課件数は1,569件(前事務年度1,897件)、賦課割合は14.1%(前事務年度16.8%)でした。
- ⑤贈与税の調査
贈与税の実地調査は5,671件でそのうち非違件数は5,331件、追徴税額は79億円でした。

